



Narrative and Self 講演会

ダン・マクアダムス先生を迎えてのナラティブ、自己物語、発達心理学に関する講演会です。

平日夕方の開催ですが、奮ってご参加ください。

日時：2008年11月18日（火）17:00～19:40

場所：立命館大学衣笠キャンパス 洋洋館 959号室

学内地図（この地図の12番の建物）

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/koho/annai/profile/campus/kic.pdf>

※駐車スペースがございませんので、公共交通機関をご利用ください。



事前申込不要
／参加費無料

【プログラム】

17:00-17:30 【司会：森岡正芳（神戸大学）】

Prof. Enomoto (Meijo University) 榎本博明（名城大学）

The narrative approach and the identify psychology 「語りを素材に自己のアイデンティティに迫る」

17:30-18:00 Prof. Yamada (Kyoto University) やまだようこ（京都大学）

Linear Progressive Model and The Ryoko Model of Development 「発達の線形進歩モデルと両行モデル」

18:00- 18:10 休憩

18:10- 19:40 【司会：サトウタツヤ（立命館大学）】

Prof. Dan McAdams (Northwestern University) 【通訳・東村知子（奈良女子大学）】

"Narrative Identity and the Problem of Coherence in Life Stories."

「ナラティブ・アイデンティティと自己物語における一貫性の問題」

参考・Dan McAdams先生のHP <http://www.psych.northwestern.edu/~mcadams/>

講演会は基本的に日本語で行われます。マクアダムス先生の英語講演には通訳がつきます。

主催：立命館大学人間科学研究所・科学研究費補助金

お問合せ先：立命館大学人間科学研究所（人文社会リサーチオフィス内）

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL：075-465-8358 FAX：075-465-8245

E-Mail：ningen@st.ritsumei.ac.jp

本企画は、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業「臨床人間科学の構築—対人援助のための人間環境研究」研究法開発チーム【代表：佐藤達哉】および科学研究費補助金基盤研究(B)「ナラティブアプローチによる治療の意味生成過程に関する研究」【代表：森岡正芳】の研究成果として広く社会に発信するものです。